

食と防災 シンポジウム

2013



備えてまっか〜! まさかの時の食ーⅡ

平成25年

日時

9月9日(月)

13:20~16:20(開場12:30)

場所

相愛学園本町学舎講堂

(大阪市中央区本町4-1-23)

地下鉄「本町」駅C階段4号出口すぐ

定員

300名

※定員は先着順とさせていただきます。

入場無料

講演Ⅰ (13:30)

「大規模災害時における消防活動」

大阪市消防局警防部警防訓練担当課

課長 住田 徹

講演Ⅱ (14:10)

「食物アレルギーの正しい知識と関わり方」

(地独)大阪府立病院機構

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター

小児科医長 高岡 有理



災害から個人や家族、地域を守るためには、私たち一人ひとりが災害への認識を深め、備えを強化することが大切です。食と防災の視点から、自助(個人)、共助(地域、大学)、公助(行政、病院)の必要性の理解を深めるためにこのシンポジウムを開催します。

パネルディスカッション (15:00-16:20)

テーマ

「忘れていませんか、自分の非常食」

【パネリスト】

- 「日常食から非常食を」

相愛大学客員教授、農林水産技術会議委員 坂本 廣子

- 「被災地における栄養弱者の状況と対応」

(独)国立病院機構 京都府病院診療部内科 栄養管理室室長 松井 欣也

- 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科医長 高岡 有理

【コメンテーター】

大阪青山大学健康科学部教授、(社)大阪府栄養士会会長 藤原 政嘉

【コーディネーター】

相愛大学人間発達学部教授、相愛大学総合研究センター運営委員

太田 美穂



坂本 廣子



松井 欣也



藤原 政嘉



太田 美穂

主催 大阪府 農林水産省近畿農政局大阪地域センター 相愛大学 大阪青山大学

後援 (社)大阪府栄養士会 大阪府食生活改善連絡協議会

健康おおさか21・食育推進企業団

協賛 大塚製薬株式会社大阪支店 株式会社宮源

展示コーナー (12:30~16:10)

● 府内特定給食施設における災害時の備え

大阪府保健所栄養士

● 見てわかる実践台所防災

坂本 廣子

● 若い仲間に伝えたい！ 食と防災

相愛大学人間発達学部発達栄養学科

● 大阪産（もん）の紹介

大阪府環境農林水産部

● (社) 大阪府栄養士会賛助会員による非常食展示

(株) 大和商会

高岡 友理

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
小児科医長

平成11年名古屋大学医学部を卒業後、愛知県で研修および小児科医として勤務。長女は食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の発症を契機に小児アレルギーの道に進む。平成17年からあいち小児保健医療総合センターでアレルギー科レジデント勤務。平成20年から現病院に勤務し食物アレルギーを中心に診療を行っている。

松井 欣也

独立行政法人国立病院機構 京都府病院 診療部内科 栄養管理室長

1980年、国立循環器病研究センターに入職。1988年、京都府病院へ配置換え。その後、約3年毎に転勤（千石荘病院（貝塚市）、紫香楽病院（滋賀県）、近畿中央胸部疾患センター（堺市）、神戸医療センター、奈良医療センター、兵庫青野原病院）し、2010年、再び京都府病院に着任し現在に至る。8施設中4施設（約20年）で、重症心身障害児（者）の栄養管理に携わり、それらに関する研究を主に行っている。他に取り組んでいるテーマは、「災害時の栄養管理」で、2010年6月にJDA-DAT（日本栄養士会災害支援栄養チーム）のスタッフとして石巻市へ支援に行ったのがきっかけ。

坂本 廣子

相愛大学客員教授 農林水産技術会議委員

神戸に生まれ育つ。台所は社会の縮図として、様々な問題を食で解決する社会派料理研究家。幼児期からの料理体験で育てるハズオン教育を35年以上実践。日本の食育のさきがけでNHK教育テレビの「ひとりでもできるもん」の産みの親でもある。自給率向上の切り札として、米粉の推進普及を10年以上行う。阪神淡路大震災に被災し、日常生活を基礎にした「台所防災術」を編み出し安全な調理の普及を目指す。キッズキッチン協会会長、近畿米粉食品推進普及協議会会長、神戸女子短期大学非常勤講師など公職多数。「お弁当をひとりで作ろう」など著書多数。

太田 美穂

相愛大学人間発達学部教授 相愛大学総合研究センター運営委員
日本デンベ研究会会長

国立循環器病センター研究所を経て2006年から相愛大学人間発達学部教授。医学博士（大阪大学大学院医学研究科）。専門は生化学・栄養学。日本生化学会評議員、日本栄養改善学会評議員、(社)エビデンスに基づく総合医療研究会理事などを務めている。1995年神戸市内で阪神・淡路大震災を経験した。大豆発酵食品デンベの機能性（整腸作用）を明らかにしそのメカニズムを追っている。非常時・災害時の栄養補給に関心を持っている。

藤原 政嘉

大阪青山大学健康科学部教授 社大阪府栄養士会会長

大阪生まれの大阪育ち。「食べ物」を介して人の健康に貢献できればと思い栄養学を学び、保健所・病院勤務を経験し、現在大学で教鞭をとっている。一方、栄養士の役員として大阪府民の皆様の健康を栄養面からサポートすべきと思い種々の事業を展開している。また、東日本大震災時には「日本栄養士会災害支援栄養チーム（JDA-DAT）」を組織し、被災者の栄養アセスメントや支援物資の栄養学的配慮など栄養サポートを実施した。

【問い合わせ先】大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課 TEL 06-6941-0351 (代)内線2548

【申し込み先】農林水産省近畿農政局大阪地域センター消費・安全グループ FAX 06-6941-9011

【締め切り日】9月5日(木)

近畿農政局大阪地域センター消費・安全グループ へFAXでお申し込みください。

FAX 06-6941-9011

締め切り 9月5日 (木)

氏名(ふりがな)	住 所 (所 属)	電話番号

個人情報とは今回の食と防災シンポジウム以外の目的には使用いたしません。

参加いただける方への連絡及び参加証等の発行はいたしません。定員を超えたため参加いただけない場合のみ、こちらから連絡いたしますのでご了承願います。